

人権委員会だより

2016年7月19日発行



1学期も残りあとわずかとなりました。この1学期は充実していましたか？

さて、今年度最初の人権委員会だよりは、5月の連休中に募集した人権標語・人権メッセージについてです。保護者の皆様にも協力していただき、たくさんの作品が集まりました。ありがとうございました。

担任の先生、人権委員会で選考し、以下の優秀作品を選ばせていただきました。なお優秀作品は校内に掲示する予定です。

人権標語優秀作品

【1年次生徒作品】

- ◇LINEより話して作る 仲間の輪
- ◇つなげよう やさしい心 やさしい笑顔
- ◇わかるんだ ほんとの気持ち 目を見れば

【2年次生徒作品】

- ◇だいじょうぶ この一言に すくわれる
- ◇気づいてあげて 相手の弱さ
- ◇咲かせよう 笑顔の花を 私から

【3年次生徒作品】

- ◇ことばはね 消しゴムなんかじゃ 消せないよ
- ◇君の顔 笑顔が一番 良く似合う
- ◇咲き誇れ 笑顔の大輪 枯れ果てて 悲しみの葉

【3年次保護者作品】

- ◇一人じゃない 周りを見れば 仲間の輪
- ◇消せません 言葉がつけた深い傷 忘れません 言葉がくれた勇気と力
- ◇優しさは してもされても 笑顔よぶ

人権メッセージ優秀作品

【1年次生徒作品】

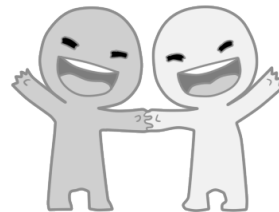
- ◇あなたの色 私の色 どんな色でも輝ける
- ◇君はひとりじゃないよ 私がここにいるよ
- ◇あいさつは 小さな勇気の 大きな一言

【1年次保護者作品】

- ◇あなたの命が 私の生きる力
- ◇なぜやるの？ 自分がされたら嫌なのに
- ◇ねえ、遊ぼう。その一言で救われる

【2年次保護者作品】

- ◇私にも できることから ひとつずつ
- ◇思いやり 素直になれば できるはず
- ◇認めてあげて 一人一人の個性 同じじゃない



【1年次保護者作品】

- ◇勇気を出して声をかけよう 笑顔の花が咲く
- ◇大丈夫 その一言が勇気になる
- ◇元気な「ただいま」がお母さんの元気

【2年次生徒作品】

- ◇あいさつは 心と心をつなげる言葉
- ◇一人ひとり違う色を持っている。
- ◇いつもいえないことだけど大切な人に伝えたい。そばにいてくれていつもありがとう。

【2年次保護者作品】

- ◇「笑顔」を広げよう どんな時も「笑顔」なら幸せ。
- ◇みんな誰かの大切な人
- ◇悲しくて涙・笑いこけて涙・悔しくて涙・嬉しくて涙 どの涙も友がいる証拠です

【3年次生徒作品】

- ◇笑った分だけ幸せがある 泣いた分だけこれからがある
- ◇友達だって 量より質だ
- ◇大丈夫 そばにはいつも だれかいる

【3年次保護者作品】

- ◇あなたの笑顔が元気の源
- ◇未来とは “今”の自分の積み重ね
- ◇君は君だよ。だから自信を持って夢に向かって進め。



話し合いで出た意見や感想

保護者の皆様には、話し合いで出た意見や感想も書いていただきました。人権に関する意見や親から子供への愛情が伝わる文章が数多くありましたので、主なものを紹介させていただきます。

- 思ったよりも優しい心を持っている事に気付かされました。いつまでも、優しい気持ちを忘れないで育ててほしいなと思います。
- 小さな心がけや優しさが、他人との良い関係を作る。大きな役割を持っていること、わかっていてもできないこともあるかもしれません。できる心を持ちながら生活していきたいです。
- 毎日の元気な「ただいま」の声が親の疲れも忘れさせ、子供の充実した学校での様子が伺えます。また、子供が帰って来た時に親が顔を合わせ迎えてやる事で、それが非行に走ったり、いじめに関わったりする事を防ぐ働きかけになるのではと思います。子供も親も忙しい時代だからこそ、「待ってくれる人がいる」「帰る場所がある」という当たり前のことを、ささやかですが大切にしたいと思います。
- あたりまえの日々、時はいつのまにか過ぎていっているようだけれども、その普段通りの毎日が実はとても素晴らしい事。その生活の中で笑顔はもちろん、悲しい時、苦しい時、くやしい時、それも感謝すべきことです。毎日あらゆる事に「ありがとう」です。
- 軽い気持ちで発した言葉が、実は相手を傷つけていることもある。自身の発した言葉には、責任を持ち、相手を思いやる言葉を大切にしてほしいと思います。
- 家族でのコミュニケーションを大切に、日々過ごして行けたらいいなと思います。